

日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に資格認定制度を創設し、26年目となります。特定の専門看護分野の知識・技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的として13分野・2,714名の専門看護師と、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的に21分野・21,847名の認定看護師を社会に送りだしています(2021年6月現在)。宮崎県内では、専門看護師10名(3分野)と認定看護師158名(18分野)が活動しています。また、2019年2月には認定看護師規程が改正されました。制度改正の大きな柱は、特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師教育の開始と、認定看護分野の再編です。2020年度より新たな認定看護師制度で学んでいる看護職は新たな役割を担う事となります。宮崎県看護協会は、県民の皆様にも県内で活動する専門看護師・認定看護師の活動を広く知っていただき、皆様のお役に立てるような情報を発信する活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症、まずは戦う相手を知ろう!

急性・重症患者看護専門看護師 楠見和子(宮崎大学医学部附属病院)

2019年2月から世界は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の猛威にさらされています。ようやく、日本でも新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が始まり、宮崎でもワクチン接種が進められています。とはいえ、終息するにはもう少し時間がかかりそうです。

では、私たちが恐れている新型ウイルス感染症とは、どんな病気なのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症について知ろう!

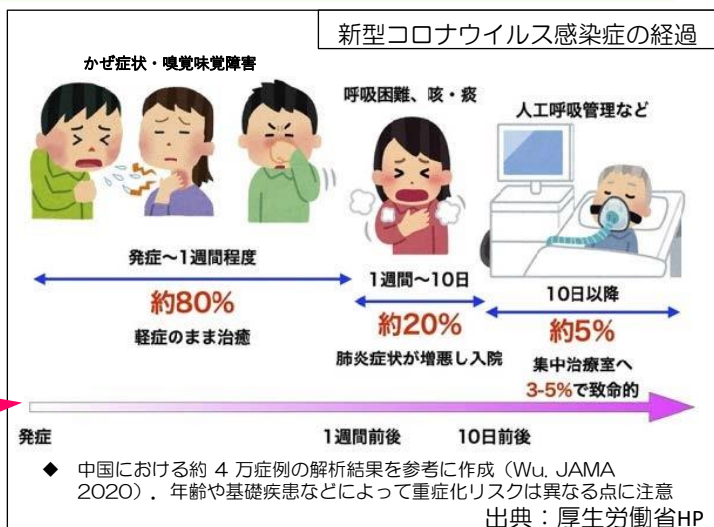
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とは、SARS-CoV-2というウイルスによって引き起こされる感染症です。突起が王冠(ギリシア語でコロナ)のように見えるからコロナウイルスと呼ばれます。一般的にウイルスは増殖・流行を繰り返す中で少しずつ変異していくものです。新型コロナウイルスも約2週間で少しずつ変異していると考えられています。専門家によると、日本では、従来よりも感染しやすい、重症化しやすい可能性のある変異株が、西日本では概ね7割を超えており、従来株からほぼ置き換わったと推定されています。

出典:厚生労働省HP

早めの相談が重症化しないための第一歩

- ★初期症状は、インフルエンザや感冒に似ています(この時期は、区別が困難!!)
- ★入院までに頻度が高い症状は、発熱、咳嗽、倦怠感、呼吸苦です。下痢も1割みられます。
- ★これまでは、基礎疾患のある方や高齢者が重症化のリスクが高いと言われていました。しかし、変異株の感染が拡大している今は、誰でも重症化する可能性があります。

初期症状を自覚したら、かかりつけ医等、最寄りの医療機関に電話相談しましょう。



新型コロナウイルス感染症のほんとうの怖さ

★第1の感染: 病気そのもの **ウイルスは人を選びません。誰でも感染する可能性があります。**

咳やくしゃみなど飛沫感染が主体ですが、飛び散った唾液等を介しての感染もあります。

★第2の感染: 病気に関連する不安 **わからないことに対する不安が広がります。**

ウイルスは目に見えません。目に見えないものは怖いですね。また、ワクチン接種は始まりましたが、治療薬の開発はこれからであり、不安は残ります。

★第3の感染: 病気に関連する差別 **不安があると疑心暗鬼になり、差別が広がります。**

不安や恐れは、ウイルスの感染に関わる人や対象を排除しようとするなど人間関係を壊します。

戦う相手はウイルスであり、人ではありません。
手洗い・マスク着用・3密を避ける、自分にできることをしましょう!